

「進路選択と人権」

進路課 徳田 博美

高校生活も残すところあとわずかになりました。皆さんは、これからの人生をどのように歩いていくか、真剣に考えていることと思います。進路選択は、人生の大きな分岐点です。大学進学か、専門学校か、就職か、それとも…。様々な選択肢の中から、自分にとって最適な道を選ぶのは、とても大切な決断になります。

この決断を下す際、皆さんは、自分の意見をしっかりと持ち、それを周囲に伝えることができるでしょうか？ また、保護者や教員、友達など、周囲の人々の意見にも耳を傾け、尊重することができていますか？

皆さんは、それぞれ異なる個性と才能を持っています。その個性や才能を生かし、自分らしい生き方をしていくためには、自分の意見をしっかりと持つことが不可欠です。進路選択は、まさに自分の人生をデザインする作業です。他人の意見に振り回されることなく、自分の考えに基づいて決断することが大切です。

しかし一方で、自分だけが正しいというわけではありません。保護者や教員は、長い経験から得た知識や知恵をあなたに伝えたいと思っています。友達は、あなたのことをよく理解しているからこそ、様々なアドバイスをしてくれるはずです。彼らの意見にも耳を傾け、自分とは異なる視点から物事を考えることで、よりよい決断をすることができるでしょう。

「人権」という言葉は、少し難しく感じるかもしれませんが、しかし、人権とは、私たち一人一人が生まれながらに持っている、平等な権利のことです。進路選択において、自分の意見を尊重し、相手の意見にも耳を傾けることは、まさに人権を尊重することにつながります。人とのつながりを大切にし、お互いを認め合うこと、それが「人権」です。そして、それは、あなたがこれから歩む社会を生きていくうえで、とても大切な力になります。

進路選択は、決して一人で行うものではありません。周囲の人々の力を借りながら、自分にとって最善の道を見つけてください。そして、自分の人生を主体的に切り開いていきましょう。

具体的な行動として、

- 自己分析:自分の興味関心、強み、弱みを客観的に把握しましょう。
- 情報収集:様々な進路について、積極的に情報を集めましょう。
- 相談:保護者、友人、教員など、信頼できる人に相談しましょう。
- 体験:興味のある分野の仕事や大学を体験してみましょう。



最後に、皆さんは、無限の可能性を秘めた存在です。自分の可能性を信じ、夢に向かって進んでください。

※ 人権だより「ささえ愛」では皆さんの感想、人権についての考えを募集しています。

感想・意見 () 年 () 組 ()

切り取り線

コラム

突然ですが、この人かっこいいと思う

この人



井谷正吉さんを
紹介します。

明治、大正、昭和を生きた日吉の
人です。抑圧された人々の解放運
動に一生を捧げました。



井谷さんの家系は庄屋
の家なんです。

だから？



小作農民の暮らしを楽しもうとすること
は、自分の暮らしは苦しくなったかも。



みんなが良くなるように力を尽くした
人なんだね。



そうか、かっこいいイノウ。

井谷正吉先生は、1896年4月29日愛媛県北宇和郡日吉村に生れ、北宇和郡役所から三重県七保村で農業技術員、補習学校教師として過ごした。この時期に賀川豊彦、堺利彦、山川均、安部磯雄氏らと交わり社会主義者としての道を歩む。1922年この地に「我等の村」建設を思い立ち小作人、郵便局員、大工、仕立て職人などと共に昼は働き夜は村から村へと足をはこび人間が人間を搾取する不当を訴えつけた。この年に四国で初めてのメーデーがここで開かれたことは今も語りつがれている。歌人と謝野晶子はこの地を「明星ヶ丘」と名付けた。当時の大衆運動はものしい官憲の干渉と弾圧がつきまとったが、井谷先生は、屈することなく創世記の無産者運動にことごとく参加、戦後は衆議院議員として十有余年にわたり国政に参画した。1976年2月10日 81才で没す。その生涯は人間平等の旗をかかげての解放の闘いであった。明星ヶ丘はその母なる大地であり社会主義運動発祥の地である。ここにこの碑を建立し明星ヶ丘の闘いを後世に伝える 1983年5月1日 井谷正吉翁顕彰会

